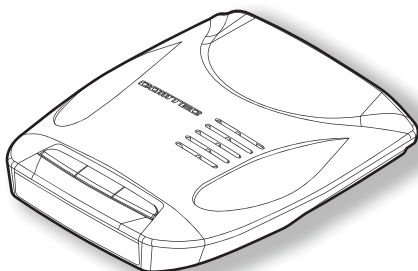


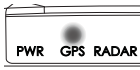
GPS 搭載 LED 表示レーダー探知機 ZERO 100L

取扱説明書／保証書



この度は本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付けおよび操作手順が説明されております。正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。なお読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

本書の見かた

⇒ PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)
 アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。
<u>長押し</u>	スイッチを 2 秒程度長めに押すことを示しています。
	GPS を受信している場合に対応する内容を説明しています。
	LED の点滅を示しています。
	LED の点灯を示しています。

本製品は安全運転と法規走行を促進するためのものです。
スピードの出し過ぎには注意しましょう。

COMTEC

はじめに

取付け

基本操作

便利な機能

設定

その他

目次

目次	2
はじめに	3
安全上のご注意	3
ご使用上の注意	4
知っておきたいこと	5
各部の名称	6
梱包内容	6
レーダー本体	6
取付方法	9
レーダー本体を取付ける	9
基本操作	12
電源を ON にする	12
電源を OFF にする	12
microSD/	
SDHC カードの抜き差し	13
音量を調整する	14
オートディマー機能	14
便利な機能	15
ユーザーポイントを登録する	15
警報をキャンセルする	16
ASC 機能	20
LSC 機能	22
アナウンス機能	23
アラーム音を変更する	24
GPS データを更新する	25
レーダー本体をアップデートする	26
走行エリアを選ぶ	28
設定項目	29
GPS 設定	29
警報時の動作	30
無線設定	47
2 OBD II アダプター	
(オプション) を使用する	56
OBD II アダプターを使用し、	
取付ける	56
付録	58
取締りの種類と方法	58
初期状態に戻す	
(オールリセット)	62
ディスプレイモード	
(販売店向け機能)	63
故障かな?と思ったら	64
製品仕様	65
さくいん	66
保証規定	67
ZERO 100L 保証書	裏面

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項は誤った取扱いをした時に生じる危害や損害の程度を「警告」と「注意」の2つに区分して説明しています。

-  **警告** 警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。
-  **注意** 注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

本書で使用している記号について

	この記号は、してはいけない内容を示しています。
	この記号は、しなければならない内容を示しています。

警告

-  運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。わき見や前方不注意により交通事故の原因になります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行なってください。
-  本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
-  本製品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
-  本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。
-  本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車の故障の原因となります。
-  本製品は、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
-  面ファスナーの剥がれなどがないか、定期的に点検を行なってください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。

注意

-  本製品は電子部品を使用した精密機器のため、衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
-  microSD カードを抜く時は、必ず本体電源が OFF になった事を確認してから抜いてください。microSD カードへのアクセス中に抜き差しを行うと、データ破損や本体故障の原因となりますのでご注意ください。
-  microSD カードは必ず指定の方向で差込んでください。故障や破損の原因となります。

はじめに

ご使用上の注意

- 本製品にはお買い上げの日から1年間の製品保証がついています。(ただし、面ファスナーなどの消耗品は保証の対象となりません)
- 本製品の近くに他のGPS機能を持つ製品を設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
- 衛星からの信号を受信できない下記のような場所では、本製品のGPS機能が働かないため、GPS機能による警報、表示、メモリー機能が正常に動きません。(トンネル・地下道・建物の中・ビルなどに囲まれた場所・鉄道や道路の高架下・木々の多い森の中など)
- 車載テレビなどでUHF56チャンネルを受信(設定)していると、GPS衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載テレビなどのチューナー部から離し、GPS受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。
- 本製品のGPS警報は、予め登録されたオービスや取締ポイントなどのGPSデータ(位置情報)とお客様が任意で登録した位置のみ有効です。
- Gシステムのみでは、自車位置を完全に検出することはできません。走行状況によっては警報できない場合があります。
- 電源を分岐して使用している場合や車のバッテリーが劣化している場合など、電流が足りず電源が不安定になり、本製品の電源が遮断されることがあります。
- 一部断熱ガラス(金属コーティング・金属粉入りなど)、一部熱吸収ガラス、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS・レーダー波などの電波が受信できない場合があります。
- 本製品の受信機能は、製品仕様欄に記載されている周波数帯のみ有効です。
- 一部ナビゲーションシステム、車載用BSチューナー、CSチューナー、地上デジタルチューナーや衛星放送受信機などの車載電子機器から本製品の受信できる周波数帯と同じ電波が出ている場合、本製品が警報を行うことがあります。
- 取締機と同一周波数のマイクロ波を使用した機器(下記)周辺で、本製品がレーダー警報を行うことがありますが誤作動ではありません。予めご了承ください。(自動ドア・防犯センサー・車両通過計測器・気象用レーダーの一部・航空用レーダーの一部、車線変更支援システムの一部)
- 本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データなどの補償に関しては一切の責任を負いかねます。
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては、販売店にお問い合わせください。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
- 本製品はDC12V車専用です。(DC24V車へのお取付けはできません)
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。ご了承ください。
- キーを抜いた状態、または車両電源がOFF状態でシガープラグに通電している車両は、バッテリー保護のためエンジン停止時は必ずシガープラグコードを抜くか、オプションのZR-02『OBDⅡ対応レーダー探知機用直接配線コード』でイグニッション電源に直接接続してください。

※ 本製品を取付けての違法行為(スピード違反など)に関しては、製品動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねます。

知っておきたいこと

● GPS とは

「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● 準天頂衛星「みちびき」(QZSS)

本製品は、準天頂衛星「みちびき」に対応しています。「みちびき」からの信号を受信することにより、GPS のみによる測位に比べ、山間部や都心部の高層ビル街などでも、さらに正確な現在位置を計測できるようになりました。

● GPS レシーバーの警報システム

衛星からの電波を受信して現在位置・移動方向・移動速度を算出し、あらかじめ登録してある各データ(座標データなど)と比較演算し、接近すると警報を行います。

● 衛星受信までの時間について

本製品は「最速 GPS 測位」機能により、起動後すばやく GPS 衛星を測位する事ができます。ただし以下のような場合、「最速 GPS 測位」は機能しません。

- ・ 前回電源 OFF 後 72 時間以上経過した場合。
- ・ 前回電源 OFF 後、直線距離で 300km 以上離れた場所で電源を ON にした場合。
- ・ 前回電源 OFF した時と、次に電源 ON した時の GPS 衛星の状態が異なる場合。

● 衛星データ

本製品は、一旦 GPS 衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネルなどで衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を早めるためです。また、まれに GPS 受信が長時間に渡ってできない場合があります。

● GPS 衛星受信と車載電子機器

車載テレビなどで UHF56 チャンネルを受信(設定)している時やナビゲーション本体や、地デジチューナーおよび衛星放送受信機などの車載電子機器からの漏れ電波により、GPS 衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載電子機器から離し GPS 衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。

● GPS の測定誤差について

本製品の GPS 機能は衛星の受信状態などにより、約 50m 程度の測定誤差が出る場合があります。

● アイドリングストップ車への取付けについて

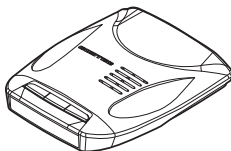
本製品は、供給電圧が 8 ~ 16V の範囲内で動作するため、一部のアイドリングストップ車両のエンジン始動時など車両のバッテリー電圧が低下する場合でも、正常動作する事ができます。

各部の名称

梱包内容

以下の物が揃っているか確認してください。

ZERO100L 本体



取扱説明書（1冊）



USB シガープラグコード（1 個）
（約 4m/1A ヒューズ内蔵 /8pin）



面ファスナー（1 セット）



アドバイス

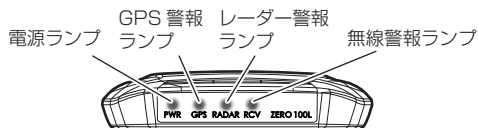
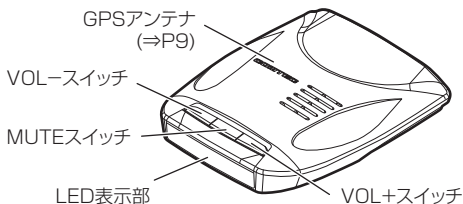
本製品に microSD/SDHC カードは付属していません。
GPS データ更新を行う際は、**16GB 以下**の microSD カード、
または microSDHC カードをご用意ください。



[16GB以下]

※ 取扱説明書のイラストと実際の製品では一部形状が異なる場合があります。

レーダー本体

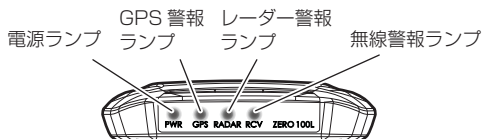


本体スイッチ操作一覧

項目	状態	スイッチ操作			備考
		VOL-スイッチ	MUTE スイッチ	VOL + スイッチ	
音量を上げる	全状態	—	—	短押し	—
下げる	全状態	短押し	—	—	—
ロードセレクト機能	待機中	—	短押し	—	—
テスト機能	待機中	長押し	—	長押し	同時に長押し
終了	待機中	音量調整以外の全操作			—
ミュート機能	警報中	—	短押し	—	—
解除	ミュート中	—	—	—	—
ユーザーポイントの登録	待機中	—	—	—	—
解除	ユーザー ポイント警報中	長押し	—	—	—
誤警報地点の登録	レーダー 警報中	—	—	—	—
解除	キャンセル ミュート中	長押し	—	—	—
オービスポイントのキャンセル登録	オービス 警報中	—	—	—	—
解除	キャンセル ミュート中	長押し	—	—	—
バスメモリの登録	無線受信中	長押し	—	—	解除はオールリセット を行う
GPS 設定モードに入る	待機中	—	長押し	—	—
GPS 設定の内容を変更する	設定モード中	—	短押し	—	—
無線設定モードに入る	待機中	—	—	長押し	—
無線設定の内容を変更する	設定モード中	—	—	短押し	—
アラーム設定	待機中	短押し	—	短押し	同時に短押し
LSC 設定	待機中	短押し	短押し	—	同時に短押し
ASC 設定	待機中	—	短押し	短押し	同時に短押し
ディスプレイモードの設定	起動時	—	—	—	—
解除	ディスプレイ モード中	—	●	—	押しながら電源を入れる
オールリセット	起動時	●	—	●	押しながら電源を入れる
データ更新モードに入る	待機中	—	●	●	押しながら電源を入れる
データ更新実行	データ更新 モード中	—	短押し	—	—

各部の名称

LED 表示内容



●待機時

電源ランプ	各種設定変更時 (ボリューム変更時は青点灯)		青点滅
	GPS 衛星	未受信	青点滅
		受信	青点灯
GPS 警報ランプ	ロードセレクト	オールモード	橙点灯
		シティーモード	緑点灯
		ハイウェイモード	赤点灯
		オートモード	3 色が順に点灯
レーダー警報ランプ	消灯（設定変更時は各設定内容により、点灯・点滅）		
無線警報ランプ			

●警報時

電源ランプ	警報ミュート時またはキャンセル時は青点滅		
GPS 警報ランプ	GPS 警報時のみ	点滅（距離や警報の種類により色は異なる）	
レーダー警報ランプ	レーダー警報時のみ	赤点滅	
無線警報ランプ	無線警報時のみ	点滅（警報の種類により色は異なる）	

レーダー本体を取付ける

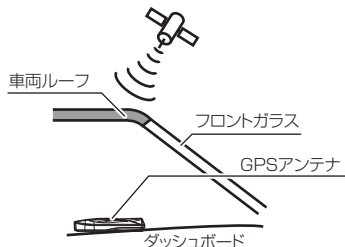
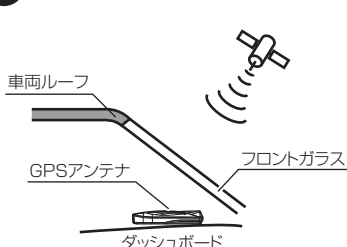
- 車両の機能（エアバッグや運転支援システムなど）に影響のない場所に取付けてください。
- GPS アンテナ上方向、前方向に遮蔽物があると衛星からの電波が受信できなくなります。取付位置には十分注意してください。



障害物がないので電波の受信ができる



車両ルーフによって電波が受信できない



⚠ 警告

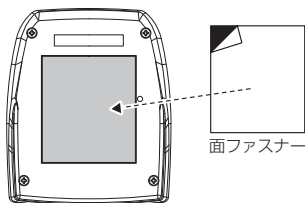
エアバッグの飛び出し場所など、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。誤った場所への取付けは、事故の原因となります。

⚠ 注意

一部の運転支援システム装着車の場合、取付け位置によっては制御に影響を及ぼす恐れがあります。取付けの前に車両の取扱説明書をご確認ください。

取付方法

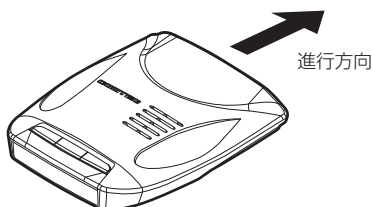
1. レーダー本体裏面とダッシュボードに面ファスナーを貼付けます。



👉 アドバイス

- ・濡れたタオルなどでダッシュボード上を拭き、きれいにしてから面ファスナーを貼付けてください。
- ・レーダー本体ができるだけ地面と平行になるような場所へ取付けを行なってください。

2. レーダー本体後部が、車両の進行方向に向くように固定します。



3. 車両シガーソケットに付属のシガープラグコードを差込みます。

※シガープラグコードを脱着する際は、右記図の通りにプラグ部を持ち、まっすぐ脱着してください。コード部を引っ張ったり回したりすると断線のおそれがあります。

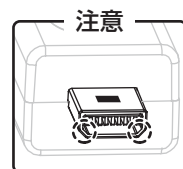
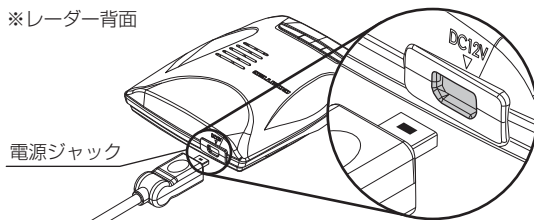


👉 アドバイス

キーを抜いた状態、または車両電源が OFF 状態でシガープラグに通電している車両は、バッテリー保護のためエンジン停止時は必ずシガープラグコードを抜くか、オプションの ZR-02『OBDⅡ対応レーダー探知機用直接配線コード』でイグニッション電源に直接接続してください。

4. シガープラグコードの向きを確認し、レーダー本体の電源ジャックに接続します。

※レーダー背面



※プラグ部拡大図

⚠ 注意

- 電源ジャックおよびプラグには向きがあるため、無理に差し込むと破損します。上記図の通りに、プラグ部の黒い部分を本体電源ジャックの▼に合わせて接続してください。
- シガープラグコードの配線が引っ張られた状態で配線の取回しを行うと、断線や接触不良により電源が不安定になる可能性があります。配線は余裕を持たせ取回しをしてください。

基本操作

電源を ON にする

1. 車両の電源を ACC または ON にします。



2. オープニングを確認します。

左から順に LED が点灯



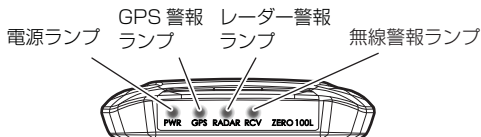
左から順に LED が消灯



全ての LED が 2 回点滅



全ての LED が点灯



3. 衛星の受信状態を確認します。

※数秒～数分かかる場合があります。

衛星の受信状態	電源ランプ	受信アナウンス
衛星受信時	点灯	ピンポン♪ 衛星を受信しました。
未受信時	点滅	チャラン♪ 衛星を受信できません。

👉 アドバイス

走行中に衛星の受信ができなくなった場合、『G システム』によって自車位置の検出を行います。

※ G システムのみでは、自車位置を完全に検出することはできません。

電源を OFF にする

車両の電源を OFF にすることで、レーダー本体の電源を切る事ができます。

👉 アドバイス

キーを抜いた状態、または車両電源が OFF 状態でシガープラグに通電している車両は、バッテリー保護のためエンジン停止時は必ずシガープラグコードを抜くか、オプションの ZR-02『OBDⅡ対応レーダー探知機用直接配線コード』でイグニッション電源に直接接続してください。

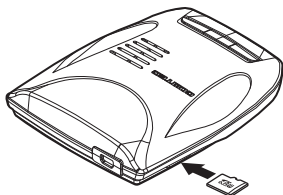
microSD/SDHC カードの抜き差し

⚠ 注意

microSD/SDHC カードを抜き差しする際は、必ずレーダー本体の電源が OFF になっていることを確認してください。

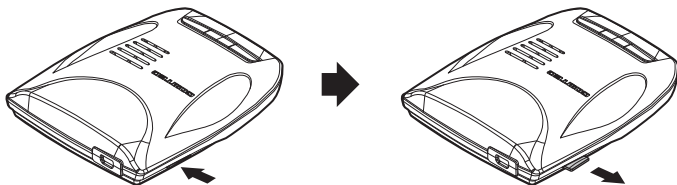
- microSD/SDHC カードを挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで軽く押し込んでください。
- 取り出すときは、microSD/SDHC カードを「カチッ」と音が鳴るまで軽く押し込むと少し飛び出しますので、落とさないよう注意し、引抜いてください。

●挿入方法



microSD/SDHC カードの端子部が本体裏側を向くように挿入し、「カチッ」と音が鳴るまで軽く押し込んでください。

●取り出し方法

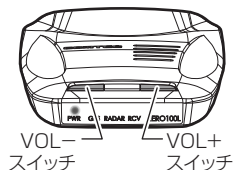


microSD/SDHC カードを「カチッ」と音が鳴るまで軽く押し込むと少し飛び出しますので、落とさないよう注意し、引抜いてください。

基本操作

音量を調整する

- LED 表示を確認しながら、7 段階の音量調整ができます。
- 【VOL - スイッチ】を短押しすることで音量が下がり、【VOL + スイッチ】を短押しすることで音量が上がります。
- お買い上げ時は、【4】に設定されています。



音量	0 (消音)	1、2	3、4	5、6
LED 表示				

テスト機能を使用する

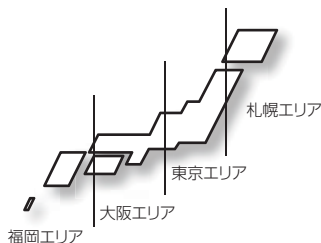
- 本製品がどのような音量で警報するかを確認できる機能です。
- 待機中に【VOL - スイッチ】【VOL + スイッチ】を同時長押しすると、レーダー本体から警報時のテスト音が鳴ります。

オートボリュームダウン機能

本製品は、オービス最接近警報（200m 以下）してから約 10 秒後、また、レーダー受信警報してから約 15 秒後に、警報音のボリュームを自動的に小さくします。一度警報が解除されると、元の警報音のボリュームに戻ります。

オートディマー機能

- 本製品は時刻によって、LED の明るさを自動的に調整するオートディマー機能を採用しています。
- 各エリアを中心に時季（2～4 月 / 5～7 月 / 8～10 月 / 11～1 月）の日の出と日の入り時刻の統計を基にオートディマー作動時刻を決めています。



ユーザーポイントを登録する



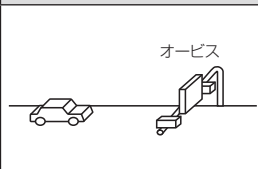
未登録、または新たに設置されたオービスポイントを任意に 100 件まで登録することができます。

⚠ 注意

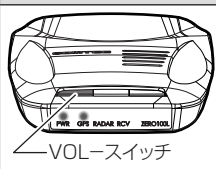
運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。

登録方法

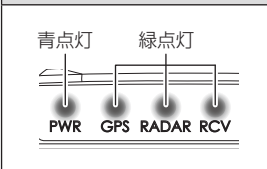
①ポイントを登録したい地点で各種警報をしていないときに



②【VOL-スイッチ】を長押しします。



③「チャリーン」ユーザーポイント登録しました」とアナウンスされれば登録完了です。



登録時の走行エリアの設定	警報条件
オールモード	一般道路 / 高速道路共通のポイントとして登録し、オール / ハイウェイ / シティーモード設定時に警報します。
シティーモード	一般道路上のポイントとして登録し、オール / シティーモード設定時に警報します。
ハイウェイモード	高速道路上のポイントとして登録し、オール / ハイウェイモード設定時に警報します。

解除方法

登録したポイントの警報中に、再度上記操作を行うことで登録が解除されます。

👉 アドバイス

下記の場合、ユーザーポイントは登録できません。

- ・各種警報時
- ・衛星未受信時
- ・一度登録した場所（登録場所から半径約 200m）に再度登録しようとした場合
- ・ユーザーポイントの登録件数が 100 件を超える場合

便利な機能

警報をキャンセルする

警報を一時的にキャンセルしたり、不要な警報をキャンセルポイントとして登録することで誤警報を低減し、警報の信頼度を高めることができます。

⚠ 注意

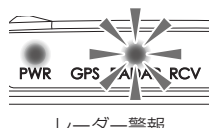
運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。

一時的にキャンセルする（ミュート）

① 各種警報中に

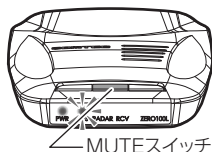


オービス警報



レーダー警報

② 【MUTE スイッチ】を短押しします。



← MUTEスイッチ

③ 「ピッ」とブザー音が鳴り、電源ランプが点滅します。



電源ランプ点滅

解除方法

ミュート中に再度上記操作を行うことで、ミュート状態は解除されます。

👉 アドバイス

- ・ミュート中は、警報音 / アナウンスによる警報を行いません。
- ・下記の場合もミュート状態になります。
 - ・誤警報の登録地点 (⇒ P17)
 - ・オービスポイントのキャンセル地点 (⇒ P18)
 - ・ASC 機能が作動中 (⇒ P20)
 - ・LSC 機能が作動中 (⇒ P22)



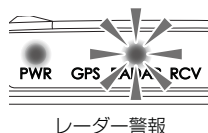
誤警報地点を登録する

- ・自動ドアなど、レーダー波を受信してしまう場所をキャンセルポイントとして登録することで、半径約 300m 内のレーダー警報を消音します。
- ・最大登録件数は、50 件です。

⚠ 注意

運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。

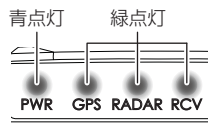
①レーダー警報中に



②【VOL スイッチ】を長押しします。



③「チャラーン」レーダーキャンセルポイント登録しました」とアナウンスされれば登録完了です。



解除方法

登録地点を走行中に再度上記操作を行うことで登録が解除されます。

👉 アドバイス

下記の場合、キャンセルポイントは登録できません。

- ・衛星未受信時
- ・一度登録した場所（登録場所から半径約 300m）に再度登録しようとした場合
- ・ポイント登録件数が 50 件を超える場合



オービスポイントをキャンセル登録する

- ・お買い上げ時から GPS データに登録してあるオービスポイントや N システムポイントをキャンセルポイントとして登録することで、該当ポイントの警報を 1 地点単位で消音します。
- ・最大登録件数は、30 件です。
- ・同時にレーダー波もキャンセルされます。

⚠ 注意

運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。

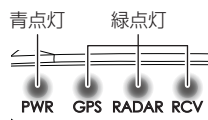
① オービス警報中に



② 【VOL スイッチ】 を長押しします。



③ 「チャラーン」警報 キャンセルポイント登 録しました」とアナウ ンスされれば登録完了 です。



解除方法

登録地点を走行中に再度上記操作を行うことで登録が解除されます。

👉 アドバイス

下記の場合、キャンセルポイントは登録できません。

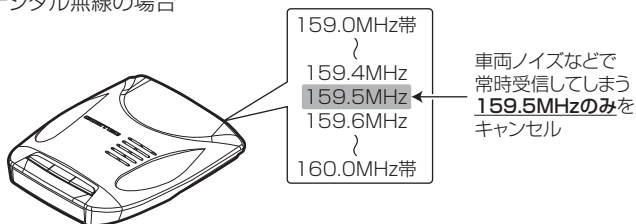
- ・衛星未受信時
- ・ポイント登録件数が 30 件を超える場合

無線警報をキャンセル登録する（パスメモリ）

車両ノイズや一部地域など一定周波数のみを受信したままの状態が続く場合に、対象の周波数を登録し、受信対象から外することができます。

※ カーロケ・350.1MHz 無線・警備無線は設定（登録）できません。

（例）デジタル無線の場合



※キャンセルした159.5MHz以外の159.0～159.4MHz、159.6～160MHzを受信するとキャンセルされずに警報を行います。

・無線設定（⇒P47）でOFFに設定した警報は、キャンセル登録に関係なく警報しません。



解除方法

レーダー本体をオールリセット（⇒P62）することで、登録が解除できます。ただし、その他の設定した内容も全てお買い上げ時の状態になります。

👉 アドバイス

カーロケ・350.1MHz 無線・警備無線は登録できません。

便利な機能

ASC 機能

ASC 機能とは、オート・センシティブ・コントロールの略称で、低速走行中（渋滞など）は受信感度を下げて警報音ミュート（消音）し、高速走行中はレーダーの受信感度を上げて警報しやすくします。

【AUTO】【LOW】【HI】【S-HI】【HYPER】から選択することができます。

設定方法

- ・待機中に【MUTE スイッチ】と【VOL+スイッチ】を同時に短押しするごとに設定が切替わります。
- ・お買い上げ時は、【AUTO】に設定されています。

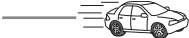


MUTEスイッチ VOL+スイッチ

受信感度設定	適切な走行場所	走行状態	LED 表示
AUTO	—	—	青点滅 緑点滅
LOW	市街地	低速走行	青点滅 赤点滅
HI	郊外地	中速走行	青点滅 橙点滅
S-HI	郊外地・高速道路	中・高速走行	青点滅 3色を順に点滅
HYPER	高速道路	高速走行	青点滅 消灯

● AUTO

[AUTO] に設定することで、走行する速度によってレーダーの受信感度を自動的に調節します。

車両状態	 信号待ち、低速走行時など	 走行中
受信感度	LOW	LOW ⇄ HI ⇄ S-HI ⇄ HYPER と車速に応じて受信感度が変化

機能	内容	走行速度	受信感度
ASC 機能 (オート・センシティブ・コントロール)	自車の走行速度に合わせて設定を切替えます	30km/h 未満	LOW
		30km/h ~ 60km/h 未満	HI
		60km/h ~ 80km/h 未満	S-HI
		80km/h 以上	HYPER

※ OBD II アダプター未接続で衛星を受信できない場合は、受信感度が [HYPER] に固定されます。

便利な機能

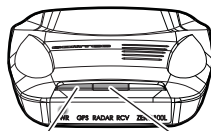
LSC 機能

LSC 機能とは、ロー・スピード・キャンセルの略称で、渋滞など車が低速走行時は、警報音を自動的にミュートする機能です。

【ON】【ALL-ON】【OFF】から選択することができます。

設定方法

- ・待機中に【MUTE スイッチ】と【VOL スイッチ】を同時に短押しすることで設定が切替わります。
- ・お買い上げ時は、【ON】に設定されています。



VOL スイッチ MUTE スイッチ

状態	内容	LED 表示
ON	低速走行時に GPS 警報、レーダー警報の警報音をミュートします。	青点滅 緑点滅
ALL-ON	低速走行時に GPS 警報、レーダー警報、および無線警報の警報音をミュートします。	青点滅 橙点滅
OFF	走行速度に関係なく警報音を鳴らします。	青点滅 消灯

LSC 機能の動作内容

走行状態	警報
停車中～ 30km/h	しない
30km/h 以上	する
LSC 機能を OFF または OBD II アダプター未接続で衛星を受信していない時	する

アナウンス機能 ※ OFF にすることはできません。

お知らせ機能

電源 ON 時のあいさつアナウンスや、衛星受信・未受信時のアナウンスなどを行います。

状態	アナウンス内容
衛星受信	衛星を受信しました。
衛星未受信	衛星を受信できません。
起動後、2 時間経過	運転時間が 2 時間になりました。 そろそろ休憩してください。
走行エリアの切替えアナウンス (オートモード設定時)	(ハイウェイ / シティ / オール) モードに切替えます。
あいさつアナウンス	※ 下記表参照

電源 ON 時のあいさつアナウンスは起動時刻により切替わります。

起動時刻	アナウンス内容
4:00 ~ 9:59	おはようございます。
10:00 ~ 17:59	こんにちは。
18:00 ~ 3:59	こんばんは。

時報機能

時報を「チャイム」+「ボイス」で行います。

セーフモード

セーフティーウィーク期間中に起動すると、音声アナウンスを行います。

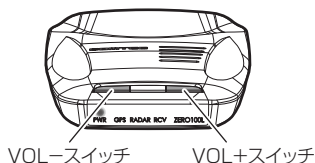
セーフティーウィーク	期間 (※)	アナウンス内容
春の交通安全運動期間	4 月 6 日～4 月 15 日 ※統一地方選挙のある年は 5 月 11 日～5 月 20 日 に変更となります。	春の交通安全運動期間です。
秋の交通安全運動期間	9 月 21 日～9 月 30 日	秋の交通安全運動期間です。
年末年始取締強化運動期間	12 月 15 日～1 月 5 日	年末年始取締強化運動期間です。

※ 交通安全運動期間は原則として上記期間ですが、都合により変更となる場合があります。

便利な機能

アラーム音を変更する

【VOL -スイッチ】【VOL +スイッチ】を同時に短押しすることにより、警報音をブザー 1 / ブザー 2 / ブザー 3 の 3 種類から選択することができます。



設定	内容	LED 表示
ブザー 1 (初期設定)	警報音をブザーで鳴らします。	青点滅 緑点滅
ブザー 2		青点滅 橙点滅
ブザー 3		青点滅 赤点滅

※ 設定を変更することにより警報音が鳴り、確認することができます。

GPS データを更新する

- ・本製品の GPS データ（GPS ポイントデータ）は、最新バージョンへの更新ができます。
 - ・弊社調査地点以外にもオービス・N システムが設置されている可能性があります。お車を運転するときは安全のため、必ず法定速度内で走行してください。
- ※ ダウンロードのサイトは、予告なく変更・中止される場合があります。

microSD/SDHC カードに GPS データを書き込む

◆必要な物

- ・パソコン（対応 OS:Windows）
- ・16GB 以下の市販 microSD/SDHC カード
- ・データを書き込むためのメモリーカードリーダー

◆更新方法

下記 2 通りの方法でデータの書き込みができます。

①ワンクリック DL App を使用する

弊社ホームページよりダウンロードできる『ワンクリック DL App』をインストールすることで、カンタンに GPS データをダウンロードし、microSD/SDHC カードに書き込むことができます。



② microSD/SDHC カードに直接書き込む

『ワンクリック DL App』をインストールできない場合や、『ワンクリック DL App』が動作しない場合は、弊社ホームページより GPS データをダウンロードし、microSD/SDHC カードにデータを直接書き込んでください。



👉 アドバイス

上記のダウンロードできる環境をお持ちでないお客様は、本製品を直接コムテック サービスセンターまでお送りください。

※お預かりでのデータ更新に関しましては**有料**となります。あらかじめご了承ください。

〒470-0206

住所 愛知県みよし市助生町下石田 60 番

電話 0561-36-5654

株式会社 コムテック サービスセンター データ更新係 迄

便利な機能

レーダー本体をアップデートする

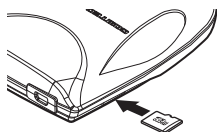
最新の GPS データをダウンロードした microSD/SDHC カードをレーダー本体に読み込ませることで、GPS データの更新ができます。

△ 注意

microSD/SDHC カードを抜き差しする際は、必ずレーダー本体の電源が OFF になっていることを確認してください。

操作方法

1. レーダー本体の microSD/SDHC カードスロットに、microSD/SDHC カードを「カチッ」と音がするまで差し込みます。
(⇒ P13)

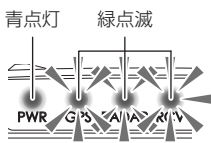


2. 【MUTE スイッチ】と【VOL + スイッチ】を同時に押しながら、レーダー本体の電源を入れます。(⇒ P12)



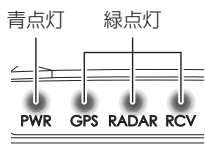
MUTEスイッチ VOL+スイッチ

3. 電源ランプ以外の LED が緑点滅したら、【MUTE スイッチ】を短押しします。



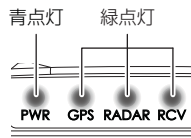
MUTEスイッチ

4. 電源ランプ以外の LED が左から順に緑点灯しデータ更新を開始します。



左から順に点灯を繰り返す

5. 全ての LED が点灯に変わり、自動的に再起動します。



6. レーダー本体が正常に起動したら、データ更新は完了です。

エラー表示一覧

アップデート中にエラー表示がされた場合は、下記対処方法をご確認の上再度手順 1 から操作を行なってください。

LED 表示	エラー内容	対処方法
青点灯 赤点滅	アップデートに失敗しました。 ※正常にアップデートされるまで、本製品は再起動後もデータ更新モードから切替わりません。	再起動後、GPS データのアップデートを行なってください。
青点灯 赤点灯	microSD/SDHC カード内に更新データが存在していません。	再度、パソコンから GPS データを microSD/SDHC カードにコピーしてください。
青点灯 橙点灯	microSD/SDHC カードが挿入されていません。	microSD/SDHC カードの挿入を確認してください。

△ 注意

- microSD/SDHC カードを無理に抜き差しすると、microSD/SDHC カードやレーダー本体が破損することがあります。
- microSD/SDHC カード以外のものを挿入しないでください。レーダー本体が破損することがあります。
- アップデート中は、microSD/SDHC カードを抜いたり、電源を切ったりしないでください。microSD/SDHC カードやレーダー本体が破損することがあります。ただし、アップデートが開始されなかったり、途中で停止した場合は再起動を行い、再度アップデートを行なってください。

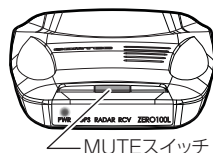
便利な機能

走行エリアを選ぶ

GPS 警報を行う道路を【オールモード】【シティーモード】【ハイウェイモード】【オートモード】から選択することができます。

設定方法

- ・待機中に【MUTE スイッチ】を短押しすることにより設定が切替わります。



設定	LED 表示	GPS 警報を行う道路
オールモード (初期設定)	青点滅 橙点灯 	一般道路／高速道路
シティーモード	青点滅 緑点灯 	一般道路のみ
ハイウェイモード	青点滅 赤点灯 	高速道路のみ
オートモード	青点滅 3色が順に点灯 	オールモード、シティーモード、 ハイウェイモードを自動で切替える

※ シティーモード設定中、走行速度が 80km/h を超えたり、ハイウェイモード設定中、車が停車状態になると、「モード確認をしてください」とアナウンスします。

👉 アドバイス

オートモードに設定した場合、自車の走行速度と GPS のデータを基に「オールモード」、「シティーモード」、「ハイウェイモード」を自動的に切替えます。そのため、下記のような場合、実際の走行道路と設定が異なり、GPS 警報を行わないことがあります。

- ・高速道路走行中に渋滞等により低速走行をしている場合。
- ・高速道路から速度を落とさずに一般道路に合流する場合。
- ・一般道路と高速道路が並行している場合。

GPS 設定

GPS 警報の設定を 3 つのモードから簡単に切替える事ができます。

設定方法

1. 待機中に【MUTE スイッチ】を**長押し**し、GPS 設定モードに入ります。
2. 【MUTE スイッチ】を短押しするごとに設定が切替わります。



MUTEスイッチ

3. GPS 警報ランプの色で設定を表示します。

- ・ オールオン：緑点滅
- ・ おまかせ 1：橙点滅
- ・ おまかせ 2：赤点滅



4. 【VOL スイッチ】を短押しして設定を終了します。

- ・ 変更した設定内容を約 5 秒間表示した後、待機状態に戻ります。
- ・ 何もスイッチを押さないで約 5 秒経過した場合、変更した設定は保存され、設定内容の表示は行いません。



VOLスイッチ

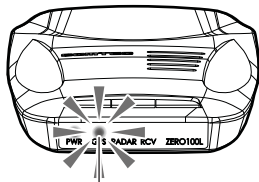
機能	おまかせ 1	おまかせ 2	オールオン（初期設定）
W オービス	OFF	OFF	距離：500m
取締ポイント／白バイ警戒エリア	ON	ON	ON
駐車監視エリア	OFF		
信号無視取締機ポイント／ 過積載取締機ポイント	ON		
警察署エリア／交番エリア／ 高速警察隊エリア／ 事故ポイント／N システム	OFF		
SA/PA/HO／道の駅ポイント		OFF	
急カーブポイント／ トンネルポイント／ 県境ポイント			
分岐・合流ポイント			
逆走お知らせポイント／ 消防署エリア／スクールエリア			
踏切ポイント			
ゾーン 30	ON		
ラウンドアバウト	OFF	OFF	
冠水エリア			

設定項目

警報時の動作

GPS 警報表示について

本製品は GPS 機能を利用し、登録された警報ポイントに近づくと、GPS 警報ランプの表示とアナウンスでお知らせします。



GPS警報ランプ

警報種類		GPS 警報ランプ表示	点滅速度
オービス／ ユーザーポイント	約 2km 地点	赤点滅	遅い
	約 1km 地点		↓
	約 500m 地点	早い	
	接近	赤点滅	
SA/PA/HO ／道の駅ポイント 長いトンネル・連続トンネルポイント スクールエリア／県境ポイント 冠水エリア／ラウンドアバウト		緑点滅	遅い
N システム／信号無視取締機ポイント 過積載取締機ポイント／警察署エリア 交番エリア／高速警察隊エリア 事故多発ポイント／急カーブポイント 分岐・合流ポイント／駐車監視エリア 逆走お知らせポイント／消防署エリア 踏切ポイント／ゾーン 30		橙点滅	↓
W オービス／取締ポイント 白バイ警戒エリア／		赤点滅	
取締ポイント回避		赤点滅	遅い点滅

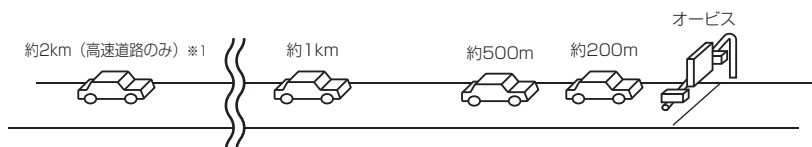
オービス情報のしかた

オービスポイントに接近した場合、下記の位置で警報を行います。

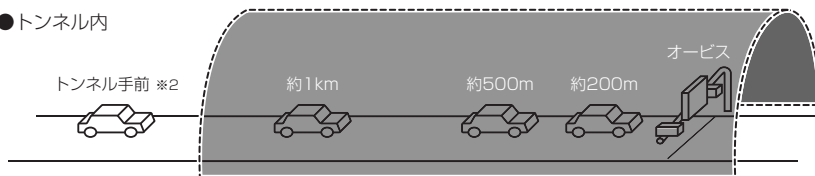
※ 対向車線上のオービスへの警報は行いません。

■警報を行う距離

●一般道 / 高速道



●トンネル内



●トンネル出口オービス



※ 1 警報を行う距離は、対象とするオービスからの直線距離です。道路の高低差、カーブの大きさなどによっては実際の走行距離と異なる場合があります。
また、オービスの設置された道路の側道など、警報対象近くのパラレルする道路を走行中にも警報を行う場合があります。

※ 2 トンネル入口から 1km 以上先にオービスがある場合のみ警報します。

設定項目

音声アナウンス

速度や道路種などによりアナウンスの内容が変わります。

■オービス / ユーザーポイント警報

警報対象	LED
ループコイル ループコイル式オービスシステム LH システム H システム レーダー 小型オービス ユーザーポイント	赤点滅 

約 2 キロ / 1 キロ手前

対象までの距離	道路種	警報対象	時速 / 到達時間 / 制限速度アナウンス	
2 キロ先 ※ 1	高速道	※ 2 があります。	時速は 約 (※ 3)、	到達時間は (※ 4) です。 制限速度は (※ 4) です。
1 キロ先	高速道 一般道		時速は約 (※ 5) です。 制限速度は (※ 5) です。	

約 500 メートル手前

道路種		カメラ位置	警報対象
この先	高速道 / 一般道	右側 / 左側 / 正面	※ 2 があります。

※ 1 2 キロは高速道路のみアナウンスします。

※ 2 取締機の種類をアナウンスします。

※ 3 アナウンスを始めた時の速度を 10km/h 単位（四捨五入）でアナウンスします。
190km/h 以上は「190 キロ以上です」とアナウンスします。

※ 4 制限速度データの有無と走行状態によってアナウンス内容が異なります。

- ・ 到達時間アナウンス…制限速度データがない場合、または制限速度データがあり、制限速度内で走行している場合、到達時間をアナウンスします。
- ・ 制限速度アナウンス…制限速度データがあり、制限速度を超えて走行している場合、制限速度をアナウンスします。

※ 5 制限速度データの有無と走行状態によってアナウンス内容が異なります。

- ・ 時速アナウンス……制限速度データがない場合、または制限速度データがあり、制限速度内で走行している場合に、※ 3 の内容で速度をアナウンスします。
- ・ 制限速度アナウンス…制限速度データがあり、制限速度を超えて走行している場合、制限速度をアナウンスします。

■トンネル内オービス / トンネル出口警報

トンネル入口手前（トンネル内オービス警報 / トンネル出口オービス警報）

道路種	場所	警報対象	時速 / 制限速度アナウンス
高速道 一般道	トンネル内 トンネル出口	※ 1 があります。	時速は約（※ 2）です。 制限速度は（※ 2）です。

約 1 キロ手前（トンネル内オービス警報）

対象までの距離	道路種	場所	警報対象	時速 / 制限速度アナウンス
1 キロ先	高速道 / 一般道	トンネル内	※ 1 があります。	時速は約（※ 2）です。（※ 3） 制限速度は（※ 2）です。

約 500 メートル手前（トンネル内オービス警報）

対象までの距離	道路種	場所	カメラ位置	警報対象
この先	高速道 / 一般道	トンネル内	右側 / 左側 / 正面	※ 1 があります。

※ 1 取締機の種類をアナウンスします。

※ 2 制限速度データの有無と走行状態によってアナウンス内容が異なります。

- ・時速アナウンス……制限速度データがない場合、または制限速度データがあり、制限速度内で走行している場合に、アナウンスを始めた時の速度を 10km/h 単位（四捨五入）でアナウンスします。190km/h 以上は「190 キロ以上です」とアナウンスします。
- ・制限速度アナウンス…制限速度データがあり、制限速度を超えて走行している場合、制限速度をアナウンスします。

※ 3 時速は、別売の OBD II アダプター接続時のみアナウンスを行います。

アドバイス

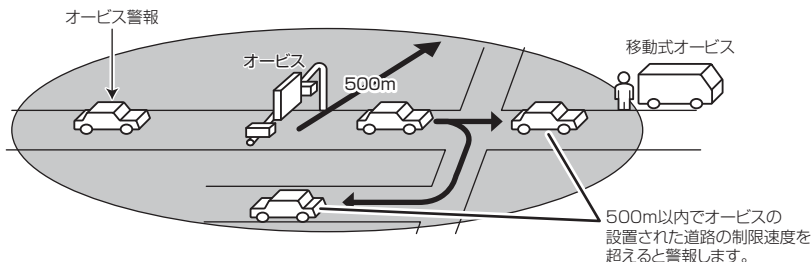
G システム（⇒ P12）のみでは、自車位置を完全に検出することができません。そのため、走行状況によっては、実際のオービスまでの距離と警報を行う距離が異なったり、警報を行わない場合があります。あらかじめご了承ください。

設定項目



ダブルオービス警報

- ・ダブルオービスとは、固定式オービスの先に移動式オービスを設置することで、固定式オービス通過後に速度を上げる車両をねらい撃ちする二重オービスの呼称です。
- ・ダブルオービスを設定した場合は、一般道路上のオービスポイントを通過後、500m 以内で、オービスの設置された道路の制限速度以上で走行すると、警報アナウンスで警告します。



アナウンス

効果音、この先ダブルオービスにご注意ください。

※ 走行エリア (⇒ P28) がシティーモード、オールモードの時のみ有効です。



アドバイス

- ・設定した距離の範囲内で信号などにより停止 (5km/h 以下) した場合、再度オービスの設置された道路の制限速度を超えると 3 回まで警報します。
- ・オービス警報キャンセルポイントに設定されているオービスポイントでは、ダブルオービス警報もキャンセルされます。
- ・オービス通過後、設定範囲内であれば車両の進行方向にかかわらず、オービスの設置された道路の制限速度を超えればダブルオービスの警報を行います。



N システム /NH システム 警報

N システム /NH システムポイントに接近した場合、下記のように警報を行います。

- ※ 対向車線上の N システム / NH システムへの警報は行いません。
- ※ GPS 電波が受信できていない状態では、GPS 警報ができません。
- ※ 本製品は、NH システムを N システムとして警報を行います。



アナウンス

効果音、この先（高速道一般道）N システムがあります。

👉 アドバイス

警報を行う距離は、対象とする N システム / NH システムからの直線距離です。道路の高低差、カーブの大きさなどによっては実際の走行距離と異なる場合があります。

設定項目



取締ポイント警報

速度取締りを中心に頻繁に行われているポイントや、過去に検問や取締りの事例があるポイントが予め本機に登録しており、取締ポイントに接近すると約 200m ～ 1km の間で注意をお知らせし、ポイントにより離れた時に回避をお知らせします。

- ・ [重点取締り] その地点での取締内容が 2 種類ある場合、重点取締りポイントとして警報します。
- ・ [最重点取締り] その地点での取締内容が 3 種類以上ある場合、最重点取締りポイントとして警報します。

取締種類	アナウンス
取締ポイント	効果音、この先（ 高速道 一般道 ）取締りにご注意ください。
重点取締ポイント	効果音、この先 一般道重点取締ポイントがあります。 ご注意ください。
最重点取締ポイント	効果音、この先 一般道最重点取締ポイントがあります。 ご注意ください。
回避	効果音、【取締 / 重点取締 / 最重点取締】ポイントを回避しました。



信号無視取締機ポイント警報

- ・ 信号無視監視機が設置されている交差点で、信号を無視して走行した違反車両の様子が撮影・記録されます。
- ・ 本機に登録されている信号無視取締機ポイントに接近すると約 200m ～ 600m の間で注意をお知らせします。

アナウンス
効果音、この先 一般道 信号無視取締機にご注意ください。

※ 走行エリア（⇒ P28）がシティーモード、オールモードの時のみ有効です。

過積載取締機ポイント警報



- ・過積載取締機が設置されている路線で、車両の積載量が無視して走行した違反車両の様子が撮影・記録されます。
- ・本機に登録されている過積載取締機ポイントに接近すると約 200m ～ 600m の間で注意をお知らせします。

アナウンス

効果音、この先（高速道
一般道）過積載取締機にご注意ください。

白バイ警戒エリア警報



本機に登録されている白バイ警戒エリアに接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス

効果音、この先 白バイ取締りにご注意ください。

効果音、この先 白バイ重点警戒エリアです。
取締りにご注意ください。

アドバイス

白バイ重点警戒エリアは白バイ警戒エリア警報を行ったあと、特定の無線を受信した際に警報を行います。

設定項目

警察署エリア警報



本機に登録されている警察署付近に接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス

効果音、この付近 警察署があります。

※ 走行エリア（⇒ P28）がシティーモード、オールモードの時のみ有効です。

交番エリア警報



本機に登録されている交番付近に接近（約 200m）するとお知らせします。

アナウンス

効果音、この付近 交番があります。

※ 走行エリア（⇒ P28）がシティーモード、オールモードの時のみ有効です。

高速道路交通警察隊エリア警報



本機に登録されている高速道路交通警察隊エリアに接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス

効果音、この付近 高速道路交通警察隊エリアです。

事故ポイント警報



全国の事故多発ポイントを予め本機に登録しており、事故多発ポイントに接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス

効果音、この先（^{高速道}一般道）事故多発地点です。

SA/PA/HO 警報



本機に登録されているサービスエリア / パーキングエリア / ハイウェイオアシスに接近 (約 2km) するとお知らせします。

状況	アナウンス
パーキングエリア	効果音、この先 高速道 パーキングエリアがあります。
サービスエリア	効果音、この先 高速道 サービスエリアがあります。
ハイウェイオアシス	効果音、この先 高速道 ハイウェイオアシスがあります。

※ 走行エリア (⇒ P28) がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。

道の駅ポイント警報



本機に登録されている道の駅付近に接近 (約 1 km) すると、お知らせします。

アナウンス
効果音、この付近、一般道 道の駅があります。

※ 走行エリア (⇒ P28) がシティーモード、オールモードの時のみ有効です。

設定項目



急カーブポイント警報

本機に登録されている急カーブ付近に接近（約 300m）すると、お知らせします。

アナウンス

効果音、この先、高速道（※ 1）急カーブです。

- ※ 走行エリア（⇒ P28）がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。
- ※ 1 カーブの状況に応じて、右、左、連続のいずれかをアナウンスします。



アドバイス

- ・全ての急カーブポイントで警報するわけではありません。
- ・高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。



トンネルポイント警報

本機に登録されているトンネル付近に接近（約 1km）すると、お知らせします。

アナウンス

効果音、この先、高速道（※ 1）トンネルがあります。

- ※ 走行エリア（⇒ P28）がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。
- ※ 1 トンネルの状況に応じて、長い、連続する のいずれかをアナウンスします。



アドバイス

- ・全てのトンネルポイントで警報するわけではありません。
- ・高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。



県境ポイント警報

県境付近に接近（高速道路：約 1 km、一般道路：約 200m）すると、都道府県をお知らせします。

アナウンス

効果音、この先、（※ 1）です。

※ 1 都道府県をアナウンスします。

アドバイス

全ての県境ポイントで警報するわけではありません。山間部やトンネル内または出口付近など、GPS の受信が不安定な場所では警報しない場合があります。



分岐 / 合流ポイント警報

本機に登録されている分岐または合流付近に接近（約 500m）すると、お知らせします。

アナウンス

効果音、この先、高速道 分岐（または合流）があります。

※ 分岐と合流のアナウンスは、それぞれ異なります。

※ 走行エリア（⇒ P28）がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。

アドバイス

- ・全ての分岐合流ポイントで警報するわけではありません。また、SA・PA・HO インターチェンジからの分岐合流も警報を行いません。
- ・高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。
- ・ジャンクションの形状によっては一つの分岐・合流ポイントで複数回警報することがあります。

設定項目



駐車監視エリア警報

各警察より発表がありました「最重点地域」、「重点地域」を基に弊社調査による監視（駐禁）エリアが登録されています。監視エリア付近に接近すると、お知らせします。

アナウンス

効果音、駐車監視エリアです。

※ 走行エリア（⇒ P28）がシティーモード、オールモードの時のみ有効です。



アドバイス

- ・全ての監視エリアで警報するわけではありません。
- ・実際の監視エリアと異なるエリアで警報することがあります。



スクールエリア警報

本機に登録されている小学校付近を 7:00 ～ 9:00、12:00 ～ 18:00 に接近（約 200m）するとお知らせします。

※ 土曜日、日曜日は警報は行いません。

アナウンス

効果音、この付近 スクールエリアです。
安全運転を心がけましょう。

※ 走行エリア（⇒ P28）がシティーモード、オールモードの時のみ有効です。



逆走お知らせ警報

全国的高速道路にあるサービスエリア、パーキングエリアやハイウェイオアシスで停車した時や入口から本線に合流しようとする時、お知らせします。

《出入口が別方向の場合》

サービスエリア等で停車し、速度が 20km/h 以上でサービスエリア等の入口に向かって走行（逆走）すると警報を行います。逆走お知らせポイントから離れるまで警報を続けます。

《出入口が同じ方向の場合》

サービスエリア等の出入口が同じ方向の場合、サービスエリアなどで停車した時に警報を行います。その後発進し、速度が 20km/h 以上になった場合、再度警報を行います。

アナウンス

効果音、逆走注意 進行方向をご確認ください。

※ 走行エリア（⇒ P28）の設定および LSC の設定（⇒ P22）に関わらず、警報を行います。

アドバイス

逆走お知らせ警報とオービス警報が重なる場所ではオービス警報が優先されるため、逆走お知らせ警報を行いません。ご注意ください。



消防署エリア警報

本機に登録されている消防署付近に接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス

効果音、この付近 消防署があります。

※ 走行エリア（⇒ P28）がシティーモード、オールモードの時のみ有効です。

設定項目



踏切ポイント警報

本機に登録されている踏切付近に接近（約 200m）するとお知らせします。

アナウンス

効果音、この先 踏切があります。

※ 走行エリア（⇒ P28）がシティーモード、オールモードの時のみ有効です。



ゾーン 30 警報

各警察より発表されるゾーン 30 が登録されています。ゾーン 30 付近に接近するとお知らせします。

アナウンス

効果音、この付近 ゾーン 30 です。
安全運転を心がけましょう。

※ 走行エリア（⇒ P28）がシティーモード、オールモードの時のみ有効です。

アドバイス

ゾーン 30 とは

生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的として、区域（ゾーン）を定めて時速 30 キロの速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内における速度抑制や、ゾーン内を抜け道として通行する行為の抑制等を図る生活道路対策です。

冠水エリア警報



本機に登録されている冠水エリア付近に接近（約 100m）するとお知らせします。

アナウンス

効果音、この先 冠水エリアがあります。

※ 走行エリア（⇒ P28）がシティーモード、オールモードの時のみ有効です。

ラウンドアバウト警報



本機に登録されているラウンドアバウトに接近（約 100m）するとお知らせします。

アナウンス

効果音、この付近 ラウンドアバウトがあります。
進行方向をご確認ください。

※ 走行エリア（⇒ P28）がシティーモード、オールモードの時のみ有効です。

設定項目

レーダー警報表示について

レーダー式取締機（⇒ P58）に接近した場合、下記のように警報を行います。

レーダー式取締機迄の 距離（電波の強さ）				
レーダー警報ランプ表示				
点滅速度			遅い 早い	
アラーム音	受信感度	LOW	アラーム音が鳴らない ※警報表示は行います。	
		HI		
		S-HI	アラーム音が鳴る	
		HYPER		
ステルス波 受信 (⇒ P58)	レーダー警報 ランプ表示		早い赤点滅	
	アラーム音		ピコッピコッピコッ・・・ アラーム音が鳴ります。	

※ レーダー警報中でも GPS 警報、無線警報を優先します。

無線設定

無線警報の設定を4つのモードから簡単に切替える事ができます。

設定方法

1. 待機中に【VOL +スイッチ】を**長押し**し、無線設定モードに入ります。
2. 【VOL +スイッチ】を短押しするごとに設定内容を変更することができます。



3. 無線警報ランプの色で設定を表示します。

- ・ オールオン：緑点滅
- ・ おまかせ 1：橙点滅
- ・ おまかせ 2：赤点滅
- ・ オールオフ：消灯



4. 【VOL -スイッチ】を短押しして設定を終了します。

- ・ 変更した設定内容を約5秒間表示した後、待機状態に戻ります。
- ・ 何もスイッチを押さずに約5秒経過した場合、変更した設定は保存され、設定内容の表示は行いません。

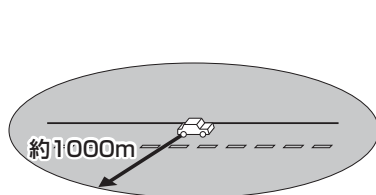


機能	オールオフ	おまかせ 1	おまかせ 2	オールオン (初期設定)
カーロケ	OFF	ON	ON	ON
350.1MHz				
デジタル		OFF	OFF	
取締特小				
署活系				
ワイド				
警察 / 消防ヘリテレ				
レッカー		OFF	OFF	
新救急				
消防				
高速管理車両				
警察活動				
警備				
タクシー		ON	ON	
パトロールエリア				

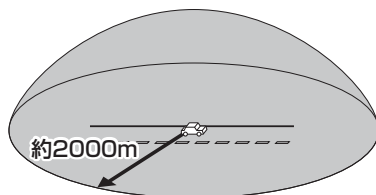
設定項目

受信範囲

下図の受信感度（距離）は直線見通し距離で、間に障害物が無い状態での受信距離目安です。



カーロケ、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、
取締特小、レッカー、新救急、消防、高速管理車両、
警察活動、警備、タクシーの各無線



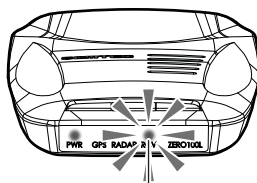
警察/消防ヘリテレ無線

アドバイス

- ・放送局や無線中継局の近くを通過する時、強い電波の影響により誤作動する場合があります。また、VHF 帯の放送局の近くを通過する場合は、デジタル無線の受信をすることがあります。
- ・使用状況、走行状態、製品取付け位置、周囲の環境（電波状況）によって受信感度（距離）が短くなる場合があります。

無線警報表示について

無線警報ランプの表示とアナウンスでお知らせします。



無線警報ランプ

警報種類	無線警報ランプ表示	受信レベル	点滅速度
カーロケ／350.1／デジタル／ 署活系／ワイド／取締特小／ 警察活動／警察ヘリテレ	赤点滅	弱い (遠い) ※ 1	遅い
		強い (近い・接近) ※ 1	早い
パトロールエリア	橙点滅	—	早い
レッカー／高速管理車両／警備／ タクシー	緑点滅	—	遅い
新救急／消防ヘリテレ／消防	橙点滅	—	遅い
カーロケ回避	赤点滅	—	遅い

※ 1 カーロケ、デジタル、ワイド無線のみ遠近識別警報を行います。

設定項目

カーロケ無線警報（カー・ロケーター・システム）

緊急車両に装備された GPS 受信機より算出された位置データを、各本部の車両管理センターへ定期的に送信する無線です。本製品は緊急車両からの電波を受信し、音声で警報を行い緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

状況	アナウンス
遠い	効果音、カーロケ無線を受信しました。
近い	効果音、カーロケ無線を受信しました。 緊急車両にご注意ください。
接近	効果音、カーロケ無線を受信しました。 接近する緊急車両にご注意ください。
回避	効果音、カーロケ無線を回避しました。

アドバイス

- ・カー・ロケーター・システムは間欠で送信されるため、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じることがあります。
- ・緊急車両は走行状態（緊急走行、通常走行、駐停車）によって、電波の送信時間が変化するため、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じることがあります。
- ・緊急車両がエンジン停止時は電波の送信を行わないため、本製品での受信はできません。

- ※ カー・ロケーター・システム搭載車であっても、使用されていない場合カーロケ無線を受信できません。
- ※ カー・ロケーター・システムは全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在受信できる地域であっても、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますのであらかじめご了承ください。また、新システムが導入された地域ではカーロケ無線の警報ができません。

350.1MHz 警報（取締用連絡無線）

取締用連絡無線で使用する周波数帯で、速度違反取締りやシートベルト装着義務違反取締りなどで使用することがあります。また、通話内容をコード化したデジタル無線方式を使用するケースもあり、音声受信ができない場合もあります。



アナウンス

効果音、通話音声（デジタル信号はノイズ）、
350.1 無線を受信しました。

デジタル無線警報

各警察本部と移動局（緊急車両など）とが行う無線交信で、159MHz 帯～160MHz 帯の電波を受信します。通話内容がコード化（デジタル化）されており通話内容を聞くことはできませんが、音声と表示で警報を行い、付近を走行する緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

状況	アナウンス
遠い	効果音、デジタル無線を受信しました。
近い	効果音、デジタル無線を受信しました。 緊急車両にご注意ください。
接近	効果音、デジタル無線を受信しました。 接近する緊急車両にご注意ください。

設定項目

署活系無線警報

パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使用している無線交信の電波を受信します。

アナウンス
効果音、署活系無線を受信しました。

ワイド無線警報

警察専用の自動車携帯電話システムのこと。移動警察電話（移動警電）ともいいます。

状況	アナウンス
遠い	効果音、ワイド無線を受信しました。
近い	効果音、ワイド無線を受信しました。 緊急車両にご注意ください。
接近	効果音、ワイド無線を受信しました。 接近する緊急車両にご注意ください。

取締特小無線警報

シートベルト、一旦停止など取締現場では普通 350.1MHz 無線を使用しますが、取締の連絡用などに特定小電力無線を使用する場合があります。

アナウンス
効果音、通話音声、 取締特小無線を受信しました。

警察活動無線警報

機動隊が主に災害や行事に使用する無線です。

アナウンス

効果音、警察活動無線を受信しました。

パトロールエリア警報

検問などで使用されている一定の無線電波を受信するエリアです。

アナウンス

効果音、パトロールエリアです。ご注意ください。

アドバイス

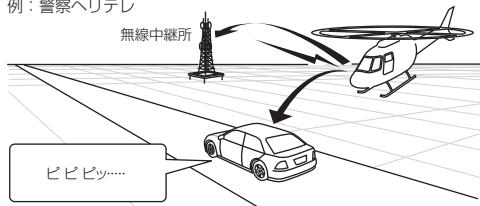
必ず検問、取締等を行なっているとは限りません。

警察／消防ヘリテレ無線警報

警察ヘリテレは主に事件・事故等の情報収集、取締りなどの時に上空と地上とで連絡を取るために使われています。

また消防ヘリテレは火事などの事故処理や連絡用として使われています。

例：警察ヘリテレ



- ※一部地域又は、一部ヘリコプターにはヘリテレ無線が装備されていない為、本製品では受信できないことがあります。
- ※ヘリテレ無線は、ヘリコプターが電波を送信した時のみ受信することができます。
- ※送信電波の中継所周辺ではヘリコプターの接近に関わらず受信することがあります。(警察ヘリテレのみ)

受信種類	アナウンス
警察ヘリテレ	効果音、通話音声、 警察ヘリテレ無線を受信しました。
消防ヘリテレ	効果音、通話音声、 消防ヘリテレ無線を受信しました。

設定項目

新救急無線警報

救急車と消防本部の連絡用無線として使用しています。主に首都圏で使用されています。

アナウンス

効果音、通話音声、
新救急無線を受信しました。

消防無線警報

消防車が消火活動中や移動時に連絡用として使用している無線です。

アナウンス

効果音、通話音声、
消防無線を受信しました。

レッカー無線警報

東名、名神の一部高速道路や一部地域でレッカー業者が駐車違反や事故処理などの時に業務用無線を使用しています。

※ 一般の業務用無線と同じ周波数のため、地域によっては一般業務無線を受信することもあります。

アナウンス

効果音、通話音声、
レッカー無線を受信しました。

高速管理車両無線警報

東日本、中日本、西日本の高速道路株式会社が使用している業務連絡無線です。おもに渋滞や工事、事故情報などでパトロール車両と本部との連絡に使用します。

アナウンス

効果音、通話音声、
高速管理車両無線を受信しました。

警備無線警報

各地の警備会社が使用する無線です。

アナウンス

効果音、通話音声、
警備無線を受信しました。

タクシー無線警報

各地のタクシー会社が使用する無線です。

アナウンス

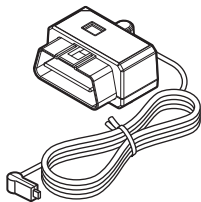
効果音、通話音声、
タクシー無線を受信しました。

OBD II アダプター (オプション) を使用する

OBD II アダプターを使用し、取付ける

別売オプションの「OBD II アダプター」を使用することで、トンネル内などの衛星からの信号を受信できないような場所でも、OBD II からの速度情報により、正確な警報を行うことができます。

OBD II アダプター



OBD II アダプターを接続する際は、ディップスイッチの設定が必要です。ディップスイッチの設定方法は OBD II アダプターの取扱説明書をご確認ください。

また、『対応車両』および『車種別のディップスイッチの設定内容』は OBD II アダプター適合表をご確認ください。

● OBD II とは

On-Board Diagnostics II の略称で、車載式故障診断システムのことを言います。車両のコネクターより車両のエラーコード（本製品では表示を行いません）の他、車速などの情報を車両のセンサーから得ることができます。

● OBD II アダプターの種類

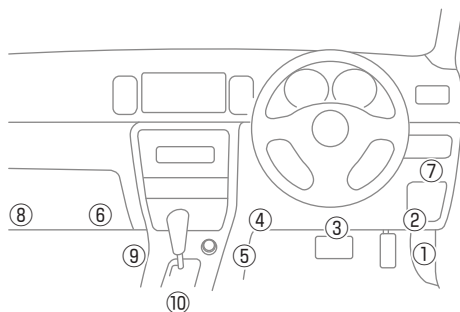
本製品は、OBD2-R1 と OBD2-R2 のどちらも使用することができます。

- ・ OBD II アダプターは適合する車両のみ接続できます。詳しくは弊社ホームページの OBD II アダプター適合表をご確認ください。
- ・ 初めて OBD II アダプターの接続を行なった際、車両によっては本製品が起動するまでに数秒～数分かかる場合があります。
- ・ 適合車両の場合でも、各種警告灯が点灯する場合や、装着している電装品によってはレーダー本体または車両機能が正常に動作しない場合があります。（車両 OBD に接続する他の電装品、一部ディーラーオプションのセキュリティシステムなど）
- ・ 弊社対応製品のみ接続することができます。その他の製品に接続して発生した製品の故障、破損などに関しては一切責任を負いません。

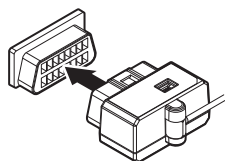
👉 アドバイス

- ・ 車両により、キー OFF 後に再度本製品の電源が ON になる場合がありますが、異常ではありません。しばらくすると電源は OFF になります。
- ・ ACC ON ではレーダーの電源は入りません。

車両 OBD II コネクター位置



番号	場所
①	アクセルペダル脇
②	運転席足元右側
③	運転席足元中央
④	運転席足元左側
⑤	センターコンソール右側
⑥	助手席足元右側
⑦	ステアリング右脇パネル裏側
⑧	助手席足元左側
⑨	センターコンソール左側
⑩	センターコンソール下



上記①～⑩の位置で車両 OBD II コネクターを探して接続を行なってください。

車両によってはカバーが付いていたり、コンソール内に存在する場合があります。

⚠ 警告

- ・ アクセルやブレーキなどのペダル操作や、ハンドル操作などの運転操作の妨げになるような配線は行わないでください。事故や怪我の原因となります。
- ・ ドアや車両金属部などに挟み込まないように配線を行なってください。

⚠ 注意

OBD II アダプターを接続する際は、必ずキーを抜いた状態、または車両電源が OFF の状態で行なってください。故障の原因となります。

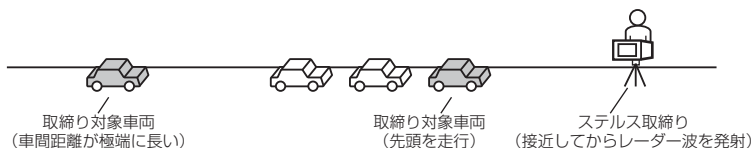
車両 OBD II コネクターにカバーが付いている場合、OBD II アダプターを取付けることにより、カバーが閉まらなくなることがあります。

取締りの種類と方法

レーダー式の取締り

● ステルス式取締方法（有人式取締り）

取締り対象の車が取締機の近くに接近してから、レーダー波を発射する狙い撃ち的な取締り方式です。走行車両の先頭や、前方走行車との車間距離が極端に長い場合などに測定されるケースが多く、100m以下の至近距離でレーダー波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わないことがありますので、先頭を走行するときは、注意が必要です。

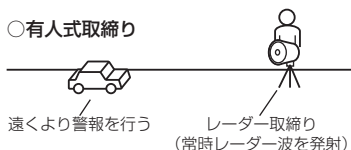


● レーダー式取締方法

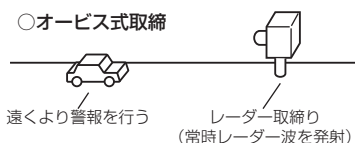
（有人式取締り／オービス式取締り／移動式小型オービス）

レーダー波を常時発射し、通過する車両の速度を測定します。また、オービス式の場合は、違反車両を自動的に写真撮影します。多くの取締り現場に採用しておりレーダー波も500m以上の距離から受信することができます。また、オービス式であれば、本製品に位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。

○ 有人式取締り



○ オービス式取締



● 新Hシステム式取締方法（オービス式取締り）

レーダー波を間欠発射し、通過する車両の速度を測定し違反車両の写真撮影を自動で行い、警察本部の大型コンピュータへ専用回線で転送されます。レーダー波も 500m 前後で受信します。また、本製品に位置データが登録してある場合、最長 2km より警報を行います。



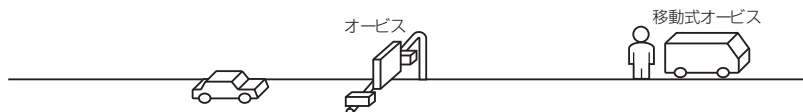
● 移動オービス式／パトカー車載式取締方法

ワンボックス車の後部にレーダー式オービスを搭載し、違反車両を取締る移動オービスとパトカーの赤色灯を改良して取締機を搭載したパトカー車載式があります。どちらも出力の強いレーダー波を発射しますので、500m 以上の距離から受信することができます。

※ 移動オービスで、本製品で探知できない光電管式もあります。

● ダブルオービス式取締方法

固定式オービスの先に移動式オービスを設置することで、固定式オービス通過後に速度を上げる車両をねらい撃ちする二重オービスの呼称です。



レーダー式以外の取締り

● ループコイル式取締方法（オービス式取締り）

測定区間の始めと終わりに磁気スイッチ（金属センサー）を路面下、中央分離帯などに埋め込み、通過時間から速度を算出し、違反車両の写真を撮影します。本製品に位置データが登録してある場合、最長 2km より警報を行います。



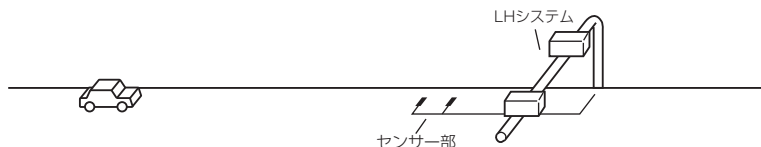
● ループコイル式オービスシステム

速度計測部はループコイル式と同様で、撮影ユニットをデジタル化し、通信機能を搭載した取締機です。本製品に位置データが登録してある場合、最長 2km より警報を行います。



● LH システム式取締方法（オービス式取締り）

速度計測部がループコイル方式で、違反車両の写真撮影が H システム方式の取締機です。従来のレーダー探知機では警報ができませんでした。本製品では位置データが登録してある場合、最長 2km より警報を行います。



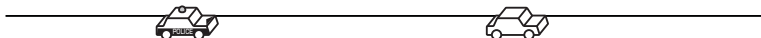
● 光電管式取締方法（有人式取締り）

2 点間に置かれたセンサーの通過時間から速度を算出し、違反車両を特定します。



● 追尾式取締方法

パトカー・覆面パトカー・白バイなどが、一定の車両間隔を保った状態で後方を追尾し、走行速度を測定し記録します。

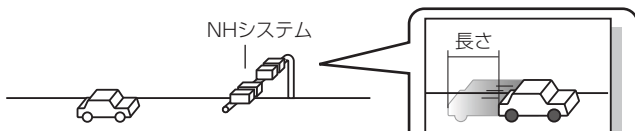


👉 アドバイス

光電管式取締方法（有人式取締り）および追尾式取締方法はレーダー波を発射しないタイプの取締方法のため本製品では探知できません。（光電管式取締方法に関しては本製品の取締ポイントに登録されている地点（⇒ P36）であれば GPS 警報を行います）

● NH システム式取締方法

通過車両を一定のシャッタースピードで撮影し、写真画像の残像をコンピュータで解析し残像の度合いによって走行速度を割出すシステムです。現在は車両識別用監視カメラとして稼動していますが、将来的には取締りに使用される可能性があります。



初期状態に戻す（オールリセット）

登録したすべてのデータをリセット（初期化）し、お買い上げ時の状態に戻します。

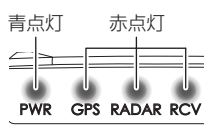
※ 更新した GPS データは初期化されません。

アドバイス

- ・消去したデータの復元はできません。
- ・お買い上げ時にあらかじめ登録してあるデータは消去できません。
- ・ディスプレイモード中はオールリセットできません。

リセット方法

レーダー本体の電源が OFF の状態で、【VOL - スイッチ】と【VOL + スイッチ】を押しながら、電源を ON にしてください。

① 【VOL - スイッチ】と【VOL + スイッチ】を押しながら	② 車両の電源を ACC または ON にします。	③ 「オールリセットしました」のアナウンスと LED が全点灯すればリセット完了です。
 VOL- スイッチ VOL+ スイッチ		 青点灯 赤点灯 PWR GPS RADAR RCV

ディスプレイモード（販売店向け機能）

レーダー本体の一連の動きをデモンストレーションします。本製品を店頭ディスプレイとして使用する場合に、設定してください。

設定方法

レーダー本体の電源が OFF の状態で、【MUTE スイッチ】を押しながら、電源を ON にしてください。



解除方法

再度【MUTE スイッチ】を押しながら電源を ON にすると、ディスプレイモードは終了します。

故障かな？と思ったら

製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

症 状	ここをチェックしてください。	参照ページ
電源が入らない	● USB シガープラグコードが抜かかかっていませんか？ ● 車両シガーソケットを分岐していませんか？ ● データ更新をした後ではないですか？データ更新が正常に終了していないと、電源が入らないことがあります。再度データ更新を行なってください。	10 ページ 4 ページ 25～27 ページ
GPS 衛星を受信しない	● フロントガラスが断熱ガラス等ではありませんか？ ● レーダー本体は正しく取付けられていますか？ ● 周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物がありますか？	4 ページ 9 ページ 9 ページ
警報をしない	● 音量は正しく設定してありますか？ ● 走行エリアの設定は正しく設定してありますか？ ● LSC 機能が作動していませんか？	14 ページ 28 ページ 22 ページ
GPS 警報をしない	● 周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物がありますか？ ● 反対（対向）車線上のオービスではありませんか？ ● オービス・N システム以外のカメラではありませんか？ ● GPS 設定で OFF になっている警報ではありませんか？ ● 新たに設置されたオービス・N システムではありませんか？ ● 誤って警報キャンセルを設定していませんか？ ● 走行エリアの設定は正しく設定してありますか？	9 ページ 31 ページ 32,35 ページ 29 ページ 25 ページ 18 ページ 28 ページ
レーダー警報をしない	● レーダー式以外の取組みではありませんか？ ● 誤ってレーダーキャンセルを設定していませんか？ ● レーダー受信感度は適正ですか？	59,60 ページ 17 ページ 20 ページ
無線警報しない	● 無線設定で OFF になっている警報ではありませんか？	47 ページ
LSC 機能が働かない	● LSC 設定が OFF になっていませんか？	22 ページ
ASC 機能が働かない	● ASC 設定が HYPER になっていませんか？	20 ページ
ユーザーポイント、レーダーキャンセルポイント、警報キャンセルポイントの登録ができない	● 周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物がありますか？ ● 各機能の登録可能件数の上限を超えて登録しようとしていませんか？	9 ページ 15,17,18 ページ

OBD II アダプター接続時

症 状	ここをチェックしてください。	参照ページ
電源が入らない	● 車両 OBD II コネクタに確実に接続されていますか？ ● ディップスイッチの設定が車両ごとの設定内容と合っていますか？	56 ページ 56 ページ
突然本製品の電源が OFF になった	● OBD II アダプターのコネクタが外れていませんか？車両の振動によってコネクタが緩むことがあります。	—

製品仕様

レーダー本体

電源電圧	DC12V 専用	受信周波数
最小消費電流	50mA 以下	・ GPS (1575.42MHz)
最大消費電流	200mA 以下	・ Xバンド (10.525GHz)
受信方式	パラレル 22ch ダブルスーパーヘテロダイン	・ Kバンド (24.200GHz)
測位更新時間	最短 0.5 秒	・ 取締り用連絡無線 (350.1MHz 帯)
検波方式	FM トラッキングタイムカウント方式	・ カー・ロケーター・システム (407MHz 帯)
動作温度範囲	-10℃～60℃	・ デジタル無線 (159～160MHz 帯)
本体サイズ	63.5 (W) × 14 (H) × 76.5 (D) / mm	・ 署活系無線 (347MHz 帯、361MHz 帯)
重量	47g	・ ワイド無線 (336～338MHz 帯)
対応 SD カード	microSD/SDHC カード 1GB～16GB	・ 警察ヘリテレ無線 (340～372MHz 帯)
		・ 消防ヘリテレ無線 (382～383MHz 帯)
		・ 取締特小無線 (422MHz 帯)
		・ レッカー無線 (154MHz 帯、 465～468MHz 帯)
		・ 新救急無線 (371MHz 帯)
		・ 消防無線 (150MHz 帯、466MHz 帯)
		・ 高速管理車両無線 (383MHz 帯)
		・ 警察活動無線 (162MHz 帯)
		・ 警備無線 (468MHz 帯)
		・ タクシー無線 (458～459MHz 帯、 467MHz 帯)

※ 本製品はおもに取締りに使用されている周波数を中心に受信します。そのため、記載されている周波数帯であっても受信できない周波数があります。

取扱説明書はホームページ上でも公開しています。

<http://www.e-comtec.co.jp/>

さくいん

1/A

350.1MHz 警報	51
ASC 機能	20
GPS	5
GPS データを更新	25 ~ 27
LSC 機能	22
microSD/SDHC カード	13
N システム/NH システム警報	35
OBD II アダプター	56, 57
SA/PA/HO 警報	39
ZR-02	4, 10, 12

あ

アナウンス機能	23
アラーム	24
移動式小型オービス	58
オートディマー機能	14
オートボリュームダウン機能	14
オービス警報	32
オールオンモード	29, 47
オールリセット	62
おまかせモード	29, 47
音量調整	14

か

各部の名称	6 ~ 8
過積載取締機ポイント警報	37
カーロケ無線警報	50
冠水エリア警報	45
逆走お知らせ警報	43
急カーブポイント警報	40
警察活動無線警報	53
警察署エリア警報	38
警察ヘリテレ	53
警備無線警報	55
警報キャンセルポイント登録 / 解除	18
県境ポイント警報	41
高速管理車両無線警報	55
高速道路交通警察隊エリア	38
交番エリア警報	38
誤警報地点の登録 / 解除	17
故障かな?と思ったら	64
梱包内容	6

さ

事故ポイント警報	38
準天頂衛星「みちびき」	5
消防署エリア警報	43
消防ヘリテレ	53
消防無線警報	54
署活系無線警報	52
白バイ警戒エリア警報	37
新救急無線警報	54
信号無視取締機ポイント警報	36
スクールエリア警報	42

ステルス式取締方法	58
ステルス波受信	46
ゾーン30 警報	44
走行エリア	28

た

タクシー無線警報	55
ダブルオービス警報	34
駐車監視エリア警報	42
ディスプレイモード	63
データ更新	25 ~ 27
デジタル無線警報	51
テスト機能	14
取締特小無線警報	52
取締ポイント警報	36
取締用連絡無線	51
取付け	9 ~ 11
トンネルポイント警報	40

は

バスメモリ	19
バトロールエリア警報	53
踏切ポイント警報	44
分岐 / 合流ポイント警報	41
保証規定	67
保証書	裏面

ま

道の駅ポイント警報	39
ミュート	16
無線キャンセル登録 / 解除	19

や

ユーザー登録ポイント警報	32
ユーザーポイント登録 / 解除	15

ら

ラウンドアバウト警報	45
ループコイル式オービスシステム	60
レーダー警報	46
レッカー無線警報	54

わ

ワイド無線警報	52
---------	----